

日本骨髄バンクの現状（2003年4月末）詳細は別添一覧を参照下さい。

	前月	当月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,731	1,513	169,435	212,101
患者登録者数	142	129	2,103	14,182
骨髄移植例数	52	47	-	4,799

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

① 第1回骨髄バンク・さい帯血バンク共同事業協議会が開催されました。

5月2日(金)、第1回骨髄バンク・さい帯血バンク共同事業協議会が日赤本社において開催されました。冒頭、厚生労働省臓器移植対策室塚本室長より、骨髄バンク事業、さい帯血バンク事業は、システムは異なるものの、共通の患者を前にした共通の目的を持った事業であること、相互の連携を進めることで、この両バンクを車の両輪とする造血幹細胞移植全体のいっそうの推進が期待される旨の挨拶がありました。続いて議長の選出や会の設置規定・運用規則、協議事項の検討等が行われました。今後の協議内容として 患者相談窓口および検索窓口の一本化について 移植成績の情報提供と患者・主治医への客観的データ(ガイドライン)の提供について 国際協力について 両者の連携による骨髄ドナーおよび保存さい帯血の目標数について 患者コーディネーターについて等の項目が決定し、毎回テーマを決めて、今後およそ半年にわたり協議を進めていくこととなりました。次回は5月27日(火)18時より、骨髄移植推進財団において公開で開催されます。

② 4月のドナー登録会報告。事前登録説明会もスタート

4月のドナー登録者数は1513人で、取消者数は514人、実質増加数は999人で前年同月の登録者数の95.9%という実績でした。登録会は44回実施され(うち献血併行型39回)、合計480人の方にご登録をいただきました。今年度から、登録採血を別途実施する事前説明会がスタートしましたが、企業としてはじめて東京電力の労働組合が4回的事前説明会を実施し、77人へ証明書を発行しました。この登録会の模様は、同組合の情報提供で業界紙に掲載されたことから、電力各社などに今後波及することが期待されます。また、大阪松竹座5月公演中の舞台「友情」の会場においても、事前説明会が行われています。実験的な取組ではありますが、これからは様々な会場や催しでの開催が見込まれます。都道府県別のドナー登録会開催数は、沖縄6回、福島、新潟、石川5回、栃木、大阪4回、東京3回、茨城、兵庫、福岡2回、北海道、埼玉、千葉、岡山、佐賀、鹿児島1回でした。

3 台湾骨髄バンク（BTCSCC）SARS蔓延により採取停止

台湾での重症急性呼吸器症候群（SARS）感染者増加をうけて、台湾骨髄バンク（BTCSCC）では、5月1日付で当面の骨髄採取を停止すると決定しました。今後の再開を想定して台湾骨髄バンクのドナーの検索、コーディネートは可能ですが、現在のところ再開の見通しは立っておらず、ドナー選定はできません。詳細は財団ホームページ「医師のページ」の「医師宛一斉通知文一覧」でご確認ください。

<http://www.jmdp.or.jp/pt/index.html> 新しい情報などについては随時ご連絡いたします。

4 患者さん関連の資料ができました

「非血縁者間骨髄移植に関する情報提供のあり方と移植患者の生活の質向上に関する研究報告書」
一昨年の財団設立10周年記念事業の一環で、登録患者とご家族の皆様へ骨髄バンク事業と造血幹細胞移植医療全般に関するアンケートを実施し、これをもとに厚生労働省厚生科学研究班と当財団の医療委員会の合同で調査の集計と解析を行いました。その際は設問への回答の集計を行ったのみでしたが、それ以外の感想、意見にも貴重なものが多くあり、これらを社会へ伝えることが骨髄バンク事業をはじめとする今後の医療に役立つと考え、アンケートの解析の再掲とともに医療委員会が平成14年度の報告書としてまとめました。アンケートは、実際に移植を受けられた生存中の患者様とそのご家族、移植を受けながらも亡くなられた患者様のご家族、そして登録をしたけれども移植を受けずに取り消された患者様とご家族の3つのグループに対して行われ集計されました。アンケートにご協力いただきました皆様に、心から感謝申し上げます。「患者様と主治医のためのパンフレット」改訂版 2000年9月の発行以来、3版目となったパンフレットですが、今回は、最新データの更新とともに、骨髄バンクの利用についての項目が新たに加わり、登録患者様の手引きとして更に充実いたしました。また、リクエストの多かった項目については追加、増補を行いました。ミニ移植については、今後希望される患者様の増加を見込み、詳しく取り上げました。報告書、パンフレットとも、ご希望の方は「患者問い合わせ窓口」03-3296-8699まで、お申し込みください。

5 WMDA第5回国際会議、来年5月日本で開催

WMDA (World Marrow Donor Association)は、世界の骨髄バンクの代表や造血細胞移植の専門家による非営利団体で、国際間での造血幹細胞の需要と供給について様々な側面からスタンダードの作成を行っています。第5回国際会議は来年5月26～29日、東京で開催が予定されています。アジアではじめての開催であること、世界の骨髄バンク関係者が日本に集う貴重な機会であることから、広く多くの方のご参加、ご協力をいただけるように企画が進められています。プログラムの内容などはホームページにてご覧になれます (<http://www.lbs-congre.co.jp/lbs/idrc5>、英語版のみ)。今後のお知らせは随時ホームページと誌上でご連絡していきます。

6 ライオンズクラブ330-A地区大会、「友情」大阪公演、ブルーコメッツコンサート

4月19日、ライオンズクラブ330—A地区の年次大会が東京プリンスホテルで開催されました。アクティビティー分科会では、登録用ビデオの鑑賞、骨髄移植、提供体験者の発表があり、参加会員からは活発な質問や提案が出されました。また、ホテル内では、終始募金活動が行われ大勢の会員の皆様にご協力をいただきました。一方駐車場では、説明員は全てライオンズの会員という献血併行登録会が開催され、31名のドナー登録がありました。5月2日～25日まで、大阪松竹座で「友情」公演されています。骨髄ドナー登録事前説明会の試みも同時に行われていますが、連日の公演に約1500人も観客が訪れ、募金が寄せられています。5月11日、神奈川県川崎市で30年ぶりに再結成されたブルーコメッツが、がんの子供を守る会と骨髄バンクのためにチャリティーコンサートを開催しました。収益の一部のほか、会場での募金活動、CDの収益、ファンクラブによるオークション売上のご寄付がありました。7月4日、多摩市民館ホールでも開催されます。

7 元患者さん、ドナーさんのパネルを制作しました。ご活用ください！

昨年末、三井住友海上火災株式会社は骨髄バンクチャリティーコンサートの際に、移植経験者とドナー経験者のパネルを作りました。同社の登録会で展示したところ、反響がよかったため、財団でもこれを複製いたしました。パネルは元患者さんとドナーさんの写真とコメントでA2サイズ8枚組みです。各地のイベント、登録会でご活用ください。貸与・制作のお問合せは広報渉外部までお願いします。



国際協力事業の状況()、HLA照合サービス状況期間

日本 米国	
米国 日本	
日本 台湾	
台湾 日本	
日本 韓国	
韓国 日本	
その他の国 日本	

お知らせ